

Pale Blue

米津玄師

米津玄師 作詞・作曲

リズム 3/4 J=88

ずつと ずつと ずつと こいをして - いた -

これ - でさ - よなら あな - たの - こと が なによ りもたい せつでし た - のぞみ どおりのおわ
とも - だち - にすあ もど - れな - いから わたし そら をみ ていまし た - さいご くらいまは
はれ - たひ - のあさ あな - たの - こと が どこま でもたい せつでし た - いえな いでいたことば

1. Am7 A7 Am7 D 2,3. Am7 Am7 G Cm7 F7
りじゃな かった - あなたは - どうですか - さよなら - しましょ - それは みずもやらずかたエ
あめく ような - きれいな - くら いお - だやかに - それは ひどくたけのずれたオ

Bm7 Gm Am7 B7 Em E1m Dm7 C7 F7 Cm7 F7 Dm7 G7
ーデル ワイス くる ず みだ すみ み かざり こんな つまら ない えいが など もう - おしま い - なの に
ー クチュール は つれ て いく ボタンの あな こんな ちくはく な たいは もう - しめたい - なの に

Am7 Bm7 Ddim Em Cm7 C7 F7 Am7 D7 Dm7 C G
エン ドロールの とちゅうで か な し くな った - ねえ この おもひ は な - ー - あなた が
エ ビロークの せ りふが い え くな った - ねえ あなた を み - つ め て - だけ

Dm7 E Fm Dm7 E A Bm7 C7 Dm7 G7 Fm
ーみすえ - たみら - いに わた - しも - いたい - はなさき - がふれ - るくら - いに あなた をみ - つ めたい - はりさけ
ーうまれ - かわら - とも いみ - がな い - らい - どこかみ - ちがはく - るよう - に あなた とあ - いたい - いまさら

Dm7 E Fm Dm7 E A Bm7 C7 Dm7 Bm7 E A
ーるほ ど - のいた - みを さけ - びたい - のに - わたしあ - なたに - こいを - した はな ばと いっしょに - ずつと
ーいたい - ことな - んで ひとつ - もない - のに - わたしあ - なたに - こいを - した しさと いっしょに - ずつと

Dm7 E Fm Dm7 C7 Fm Bm7 FM7 G7 Dm7
ずつと ずつと ずつと こいをして - いた -

Coda Bm7 J=60 Dm7 C7 F7 Bm7 Bm7 E C7
あなた のうで そのむね なか つよくひきあう いんりくで ありふれていたい - あわくあ - おい

Fm Em A Dm7 C7 F7 Bm7 Bm7 E C7 Fm Em A
メロディ - いかないで ここにいて そばで なにもいわないままで わす れられない - くらいに - だしめ て

Dm7 C7 Fm G7 Fm Bm7 Bm7 A AM7 Dm A Dm A AM7 Dm A FM7 G6
ずつと ずつと ずつと ずつと ずつと こいをして - いる -

ずつと 恋をしていた

これでさよなら あなたのことが
何よりも大切でした
望み通りの終わりじゃなかった
あなたは どうですか
友達にすら 戻れないから
わたし空を見ていました
最後までいた春めくような
綺麗なさよならしましよ
それは 水もやらず枯れたエーデルワイス
黒ずみだす耳飾り
こんな つまらぬ映画なもうおしまい なのに
エンドロールの途中で悲しくなった
ねえ この思いは何

あなたが 見据えた未来にわたしもいたい
鼻先が触れるくらいに あなたを見つめたい
張り裂けるほどの痛みを叫びたいのに
わたしあなたに恋をした 花束と一緒に
ずつと 恋をしていた

晴れた日の朝 あなたのことが
どこまでも大切でした
言えないでいた言葉交わし合った
笑えるくらい穏やかに
それは 酷く丈のずれたオートクチュール
解れていくボタンの穴
こんな ちくはくな舞台はもう縮めたのになに
エピソードの台詞が言えなくなった
ねえ あなたを見つめたい

どれだけ生まれ変わろうとも 意味がないくらい
どこか導かれるように あなたと出たい
今更言いたいことなんて 一つもないのに
わたしあなたに恋をした 苦しさと一緒に
ずつと

あなたの腕 その胸の中
強く引き合う引力が
有り触れていた 淡く青いメロディ
行かないで ここにいて 側で
何も言わないままで
忘れられないくらいに抱きしめて
ずつと ずつと 恋をしている